

水稻・大豆の生育と管理

平成30年10月号

北部振興局集落営農・水田班

30年産米の収穫準備をしよう！！

◎30年産の生育概況

- ・7月から8月にかけて高温多照であったことから、生育が旺盛で、平年よりも茎数が多くなっています。
- ・成熟期は平年と比べると、2～5日ほど早くなると予想されます。
- ・今後も平年より気温が高く推移する可能性が高いため、**成熟期がさらに早まる可能性が**あります。
- ・成熟期の予測は下表を参照して、適期収穫のための準備をしましょう。

＜30年産ヒノヒカリの成熟期予測＞（8月30日現在）

〔院内〕

田植え日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日
成熟期	10月8日	10月10日	10月13日	10月15日

※アマダス院内による予測です。

〔豊後高田〕

田植え日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日
成熟期	10月7日	10月8日	10月10日	10月13日

※アマダス豊後高田による予測です。

※上記は目安です。圃場を確認し、青籾率20%で収穫しましょう。

※にこまるは上表より+5日が目安です。

◎適期収穫で品質向上

収穫適期を逃すと品質が低下します。

適期に収穫を行い品質の向上に努めましょう。

早刈りでは、収量の低下に加えて、未熟粒、青米が混入します。

また、遅刈りでは倒伏による減収が懸念されます。

さらに、茶米、乳白米、胴割米が発生し、等級の低下につながります。

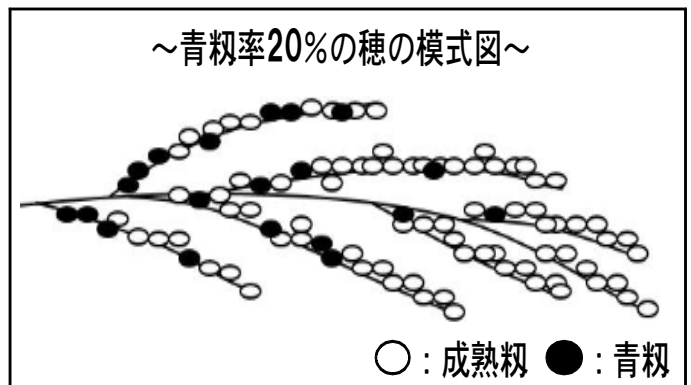
◎水稻の収穫適期の判定

収穫適期は籾の色で判断します。

収穫の目安は青籾率20%。

青籾率20%の目安としては、**下側2本の枝梗の根本から3粒程度に青籾が残っている状態**です。

～青籾率20%の穂の模式図～



大豆の管理について

◎大豆の収穫準備

- ・ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、必ず収穫前に抜き取りましょう。
- ・コンバイン内で青立ち株や雑草の汁が大豆に付着し汚損粒の原因となります。



汚粒大豆

◎難防除雑草対策

～雑草の種子をほ場内に残さない！～

難防除雑草の蔓延が問題になっています。

- 蔓延を防ぐポイント
 - ・ 雑草が開花、結実前に防除し、種子を作らせないようにしましょう。
- 圃場内で見つけたとき
 - ・ 早急に刈り取り・抜き取りを行うか、非選択性除草剤で防除しましょう。
 - ・ 抜いたり刈り取った株でも種子が後熟し、発芽能力を持つことがあります。
 - ・ **抜き取ったり、刈り取った雑草は放置せずにほ場の外に持ち出しましょう。**

ホオズキ



ホオズキ類



ツククサ類



アサガオ類

農作業時に注意してほしいこと!!

◎周辺に配慮した農作業を!

トラクターやコンバインでの圃場作業後、公道を走行する前にタイヤ等についた泥は圃場内で落とし、公道に泥を落とさないよう注意しましょう。
住宅地付近での早朝や深夜の作業の際には、騒音等への配慮をしましょう。

◎農作業中の事故に注意!

トラクターの転倒事故や整備中の事故、手こぎ中の事故の事例があります。
農作業はあわてず、あせらず行い、安全確認を徹底し事故に十分注意しましょう。